

**竹島問題Q&A**(日刊スポーツ 2012年8月18日)

なぜ竹島が日韓両国の問題となるのか？ 明治大学院国際学部の秋月望教授（62＝東アジア近代史）に聞いた

Q 近代以前の竹島周辺はどういう状態だったか

A 竹島は当初、松島と呼ばれていた。日本と朝鮮半島の漁師がアザラシ漁をする際に避難場所として使っていた岩礁で、両国の支配階級が領土として意識していなかったとみられる。竹島となる前は「りゃんこ島」とも呼ばれた。1849年にフランスの捕鯨船が発見。船名のリアンクール島と名付けたのが「りゃんこ」となった。

Q 韓国はなぜ自国の領土と主張するのか

A 1690年代に安龍福という人物が、朝鮮領土の鬱陵島で日本人と紛争になって、当時、紛争解決にあたった日本側は、鬱陵島は朝鮮領であるという確認をした。その時の鬱陵島が現在の竹島と混同されてしまった可能性が高い。それによって竹島が朝鮮領土であるという認識が朝鮮側にできた。

Q 日本が領有権を主張する根拠は

A 1904年2月に日露戦争が勃発した。海軍としては拠点が必要だった。1905年1月、竹島として島根県編入を閣議決定し、国際法上ののっとして日本国の領地とした経緯がある。

Q 日本の領地ですね

A ただ、この戦時下において大韓帝国は日本の侵略下に置かれていた。韓国の言い分としては、竹島が無主の土地として島根に編入されたこと自体が日本の侵略行為であるとして認めていない。

Q 今後はどうなるのか

A 韓国国民のほとんどが、竹島を領有していると認識している。韓国政府も、国際司法裁判所での裁判に応じないだろう。日本政府は国際法にのっとして、冷静に対処していくしかないだろう。

